

環境調査結果のお知らせ

令和元年5月29日午前10時から野見・須崎湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は、水温20～23℃、塩分29～35、溶存酸素量6～9mg/lでした。
透明度は3～5mで、有害種のカレニア・ミキモイとケラチウムが確認されました。

水温と塩分(表1・2)

湾内の環境は、水温20.4～22.6℃、塩分28.5～34.7でした。前回調査時(H31.4.25)と比較して、水温は全層で2.1～3.0℃上昇しました。塩分は表層及び10m層から底層で0.1～0.8上昇し、2m層から5m層で0.1下降しました。

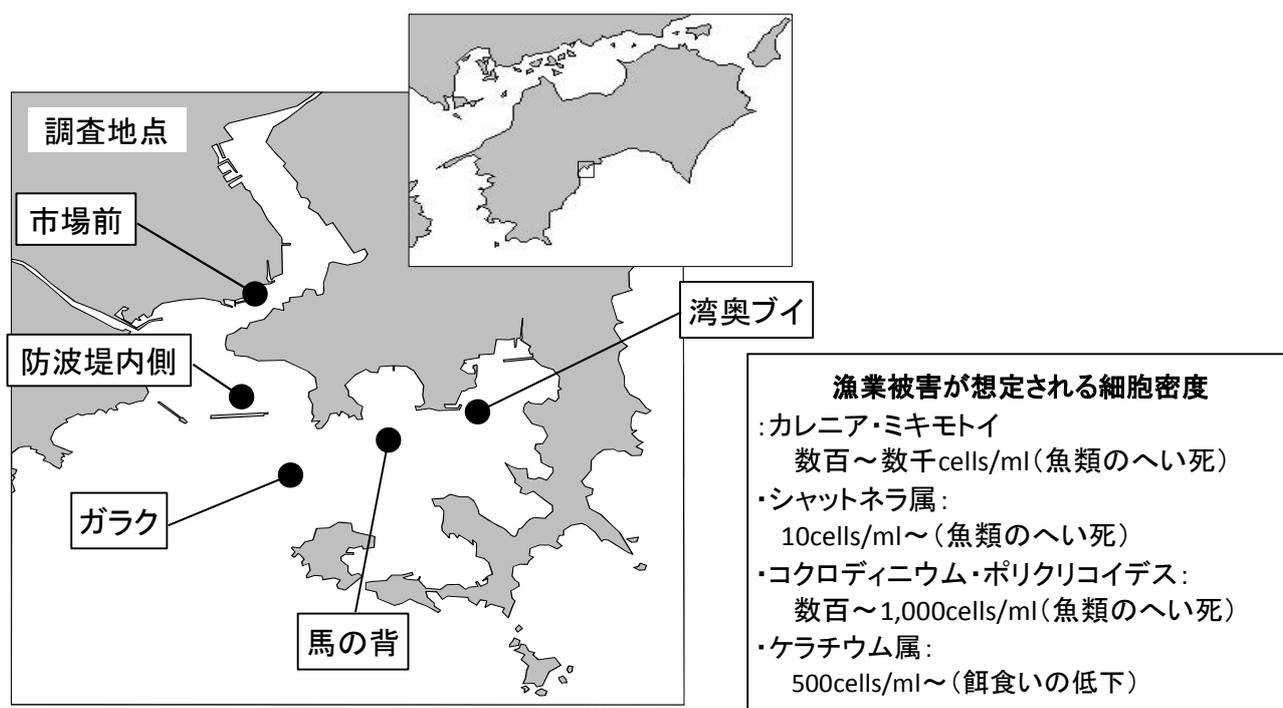
溶存酸素量(表3)

溶存酸素量6.2～8.8mg/lでした。
前回調査時(H31.4.25)と比較して、表層から2m層で0.4～0.5mg/l増加し、5m層から底層で0.2～0.9mg/l減少しました。

プランクトン(表4・5)

透明度は3.0～5.0mでした。
検鏡の結果、有害種のカレニア・ミキモイが最高で1cell/ml、ケラチウム属が最高で3cells/ml確認されました。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルなどに海水を採取して、中央漁業指導所または水産試験場までご連絡ください。



令和元年5月29日

表1 水温(°C)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H31.4.25)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	22.6	22.5	22.0	21.3	22.4	19.4	3.0	21.9
2m	22.4	22.1	21.9	22.4	22.1	19.2	2.9	22.1
5m	21.6	21.6	21.4	21.6	21.5	19.2	2.3	21.3
10m	21.0	21.3	21.3	21.0	21.2	19.1	2.1	0.0
B-1m	20.8	20.4	21.1	20.9	20.8	18.6	2.2	21.0

表2 塩分

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H31.4.25)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	33.3	33.3	32.9	28.5	33.2	32.4	0.8	29.0
2m	33.4	33.7	33.6	33.2	33.6	33.7	▲ 0.1	33.2
5m	34.1	34.1	34.3	33.8	34.1	34.2	▲ 0.1	34.1
10m	34.4	34.5	34.5	34.5	34.5	34.4	0.1	0.0
B-1m	34.6	34.7	34.6	34.5	34.6	34.5	0.1	34.5

表3 溶存酸素量(mg/l)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H31.4.25)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	8.3	8.2	8.0	8.8	8.2	7.7	0.5	8.5
2m	8.5	7.7	7.7	8.5	8.0	7.6	0.4	8.1
5m	7.7	7.5	7.2	6.9	7.5	7.7	▲ 0.2	6.9
10m	6.3	7.3	7.3	6.2	7.0	7.5	▲ 0.5	0.0
B-1m	6.2	6.2	7.1	6.2	6.5	7.4	▲ 0.9	6.7

※湾奥ブイ・馬の背・ガラクの平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	市場前
水深	16.6	23.2	15.6	13.5	11.3
透明度	3.0	5.0	5.0	3.0	2.5
前回(4/25)	8.0	9.5	5.0	3.0	8.0

表5 プランクトン(cells/ml)

		カレニア・ ミキモトイ	シヤットネラ属	コクロディニウム・ ポリクリコイデス	ケラチウム属	珪藻類
湾奥ブイ	0m	0	0	0	0	250
	2m	0	0	0	0	35
	5m	0	0	0	0	5
馬の背	0m	0	0	0	3	15
	2m	0	0	0	2	10
	5m	0	0	0	1	15
ガラク	0m	0	0	0	2	55
	2m	0	0	0	3	10
	5m	0	0	0	0	4
津波防波堤内側	0m	0	0	0	0	5
	2m	0	0	0	0	10
	5m	1	0	0	1	10
市場前	0m	0	0	0	0	200
	2m	0	0	0	3	150
	5m	0	0	0	0	30